

VOL.118

令和6年
新春号



- 2 会長より年頭のご挨拶
- 3 助産師職能委員会活動報告／看護協会の動き・理事会報告
- 4 看護師職能I委員会活動報告
- 6 特別企画座談会 vol.4
「地域で暮らしを支える看護職」
- 8 支部会員会について／
令和6年度 本会代議員・予備代議員
候補者名簿(案)
- 12 ナースセンターだより
- 13 看護実践研究会
- 14 教育認定部だより
- 15 事業部・訪問看護総合支援センター
- 16 Voice of Hyogo Nurses



会員数
31,281名 (令和5年11月末現在)
保健師 —— 650名 看護師 — 29,002名
助産師 —— 1,026名 准看護師 — 603名



兵庫県かんごちゃん



公益
社団
法人 HYOGO NURSING ASSOCIATION
兵庫県看護協会

〒650-0011 神戸市中央区下山手通5-6-24
TEL:078-341-0190



兵庫県看護協会

検索

<https://www.hna.or.jp>

[発行] 公益社団法人兵庫県看護協会

[発行責任者] 会長 丸山美津子

[発行日] 令和6年1月15日

withコロナ、with笑顔

公益社団法人 兵庫県看護協会
会長 丸山 美津子

新年、あけましておめでとうございます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類に引き下げられましたが、感染状況は変わらず、冬にはインフルエンザの感染も相まってご苦労されたことと思います。

今年は辰年です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。コロナ対応に振り回された数年でしたが、ここにきてやっと安定した対応へと落ち着きを見せていました。辰年にあやかり、これまでを振り返りつつ、一歩前進できることを願っております。

今後、ますます医療のデジタル化が進み、入院や外来・在宅などの場所を選ばず、いつでもどこでもその人らしい生き方を支援し、最善の看護サービスを提供する未来が現実のものとして思い描けるようになっています。本会が掲げる「時空を超えて創造する、つなぐ・つながる看護」のを目指す姿も少しずつ輪郭が描けるよう、皆さまと共に活動を続けていきたいと思っております。未来の看護を創造するために、看護の発展のために兵庫県看護協会は取り組んでいきます。

2023年は、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)での優勝をはじめ、バスケットボールやラグビーのワールドカップでの選手の活躍に胸躍らせ、元気をもらった年でした。さらに阪神タイガース、オリックスとセパ両リーグの覇者が共に関西球団で日本一に向かた熱戦を繰り広げたことで、コロナの影響でもやもや感が胸の底に凝り固まったように感じていた人も、大声での応援やみんなの笑顔で、晴れ晴れとされた方も多かったのではないかと思います。11月19日に開催されました神戸マラソン2023で2万人を超す参加者と沿道の応援者のはじけるような笑顔で、そのことを実感いたしました。私たちも、清々しい素敵な笑顔で仕事と向き合い、その笑顔で福を呼び寄せ、物事を好転させていきましょう。

一方、いまだに戦争・紛争により多くの命が失われています。コロナ禍で命の尊さを、守ることの大切さを身に染みて感じ、リスキーな現場で奮闘してきた看護職だからこそ、「自分たちを守ることが人々を守ることだ」と声を大にして言えると思います。皆さまと力を合わせて働き続けられる職場環境の改善や一緒に働く仲間を増やす取り組みを続けていきたいと思います。

人生「100年時代」といわれる中、健康寿命と心から幸せを実感できる幸福寿命の延伸実現に向けて、看護をされる側も看護を提供する看護職も幸福であるように、笑顔で活動してまいりましょう。

今年も、ご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



令和5年 秋の叙勲

受章おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

瑞宝双光章

安部 陽子 様

元 兵庫県立がんセンター
副院長兼看護部長

瑞宝双光章

藤原 久仁子 様

元 北播磨総合医療センター
副院長兼看護部長

看護職が健康に長く働き続けるために ～更年期をうまく乗り切ろう～

更年期とは一般的に45歳～55歳までの約10年間を指します。更年期にはホルモンバランスが大きく変化するために、ほてり、発汗、のぼせ、めまい、倦怠感、憂鬱、不安など、様々な不快な症状が出現します。なお、ホルモンバランスが崩れて生じる症状なので、男性も40歳代以降になると同様の症状を自覚する人がいます。



さらに、看護職は家庭内での負担増や職場での立場に加えて、夜勤という不規則な勤務形態を伴う仕事です。つまり、ストレスフルな状態からホルモンバランスを崩しやすい職業といえます。

●おすすめの対処方法

- 気分のムラがあるときは、まずは「自分は今、気分にムラがある」ということを自覚しましょう。そして家族や職場の同僚にも、急に気持ちが変化することがあると断りを入れておくと、誤解されずに済むことがあります。
- 自分のご機嫌を取ることを心がけましょう。日常生活のペースをダウンし、「がんばらなくてもいい」という気持ちで、自分を甘やかすことも大切です。趣味を楽しみ、悩みを話せる友人との交友を楽しむようにしましょう。
- 睡眠時間を確保しましょう。夜勤を伴う看護職では、それが難しいのが現状です。夜勤中の仮眠や、夜勤前後の睡眠を工夫するようにしましょう。
- 仮眠時間や、夜勤前後は、なるべくスマホを見ずに、部屋を暗くして布団に入るようにしましょう。

看護職は我慢しがちです。なんだかよくわからない体調不良を自覚したときには、おすすめの対処方法を取り入れてみましょう。このような対処を講じても、体調不良を自覚するときには早めに専門の病院を受診しましょう。

私たち助産師は、妊娠出産育児だけではなく性教育・頸がんワクチン相談・月経前症候群・更年期相談など女性の一生におけるあらゆる場で健康支援を行う専門家です。さらに、女性だけでなく、家族及び地域に対しても健康に関する相談と教育に重要な役割を担っています。私たち助産師が、みなさまのそばにいますのでぜひ活用してください。

文責:助産師職能委員会

兵庫県看護協会の動き

(令和6年1月16日～4月15日)

1月20日(土) 理事会

3月 7日(木) 午前:理事会 午後:施設代表者会

3月23日(土) 理事会

令和6年度

日本看護協会通常総会・全国職能別交流会

6月6日(木)～7日(金) 〈東京都(東京国際フォーラム)〉

令和6年度兵庫県看護協会定時総会

6月20日(木) 〈兵庫県看護協会会館〉

令和7年度日本看護協会代議員 及び予備代議員の選出について

選挙管理
委員会

令和6年2月15日発行の日本看護協会 協会ニュースにおいて、
選出にかかる公示が行われた後、本会ホームページに掲載します。

理事会の報告

第5回理事会(書面会議) 令和5年9月15日(金)

同意を得た理事/20名 異議申し立てのなかった監事/3名

- | | |
|------|---|
| 協議事項 | 1) 令和5年度兵庫県看護協会 委員会委員の辞任に伴う後任委員の選任について(案)承認 |
| | 2) 定期預金による資金運用について承認 |

臨時理事会(書面会議) 令和5年9月29日(金)

同意を得た理事/20名 異議申し立てのなかった監事/3名

- | | |
|------|------------------------------------|
| 協議事項 | 1) 令和6年度兵庫県看護協会 定時総会・職能集会について...承認 |
|------|------------------------------------|

第6回理事会 令和5年10月28日(土)10:00～12:30

出席理事17名より、定足数を満たしていることを確認 出席監事 2名

- | | |
|------|--|
| 協議事項 | 1) 令和5年度重点方策事業評価(案)・
令和6年度重点方策事業(案)について承認 |
| | 2) 令和6年度・7年度委員会について(案)承認 |
| | 3) 令和6年度定時総会・職能集会について(案)承認 |
| | 4) 令和5年度 兵庫県看護協会 委員会委員の辞任に伴う
後任委員の選任について(案)承認 |

広告

東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

TUK 東洋羽毛関西販売株式会社
〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町3-1-14 TEL 0120-360-420

看護師職能I委員会活動報告

新人看護師さんとともにコミュニケーションをとりませんか

当委員会は、兵庫県看護協会の重点課題に沿い「COVID-19影響を受けた新人看護師の離職への対策」について活動しています。今回、新人看護師の離職問題について調査を行い、その研究成果を学術集会で発表しました。そして研究成果をもとに新人・先輩看護師がペアで参加する交流会を開催し、交流会参加者と企画委員が共に有意義な時間を過ごす事ができました。

【委員】松本ゆかり、佐藤隆平、高濱和美、古川久美子、川井正子、田川早苗、住谷良恵、大磯佳子、芦田真知子、田代真理、関滝江、安井啓子、米富サオリ

1 COVID-19流行期の新人看護師の離職・休職等と教育に関する実態について調査し学会発表

日本看護協会の報告で新卒採用者の離職率は上昇し2021年度10.3%でした¹⁾。背景には、COVID-19の流行に伴い看護師養成課程で臨地実習ができない状況が関連し、これまでと異なる離職理由が存在すると予想しました。また、臨床では離職理由を詳細に分析できないまま、各施設で新人教育の工夫が実施されていると考えました。よって、私どもは、新人看護師研修担当責任者を対象者としWebアンケートを行い、兵庫県内のCOVID-19流行期の新人看護師の離職および休職等の制度利用と教育に関する実態を調査しました。解析では記述統計量を算出し、また先輩看護師とコミュニケーションがとれていない群とそれ以外群に分けて分析しました。

回答者は119名(回収率55.3%)でした。2021年度の新人看護師の離職の増加ありの割合は36.1%、休職等の制度利用の増加ありの割合は29.4%であり(表1)、離職および休職等の制度利用の理由の1位は精神の健康上の理由でした。さらに、2021年度新人看護師の離職および休職等に関連する理由を質問しました。その結果、該当する選択肢がない、あるいはその他という回答を除くと、1位は先輩看護師との人間関係でした(図1)。また、先輩看護師とコミュニケーションがとれていない群では、離職の増加ありは43.4%、休職等の増加ありは39.6%であり、それ以外群では10%以上低い値でした。新人看護師教育における工夫は84.0%の施設が実施し、具体的工夫は「面接の回数を増やした」が1位でした。新人看護師と先輩看護師が一組で参加する研修会について、71.4%参加を勧めると回答していました。以上から、2021年度新人看護師の離職、休職等の制度利用の増加割合は約30%であり、根底にある理由は先輩看護師とコミュニケーションがとれないことにあると考えられました。この理由から人間関係を構築できないため、安心できる相手を職場に作れず、精神の健康上の障害に至っているのかもしれません。よって、人間関係構築のため、新人看護師と先輩看護師が参加するコミュニケーション交流会企画が望ましいと考えました。写真1は、第27回日本看護管理学会学術集会で委員の佐藤隆平が研究成果を発表した様子です。

	n	%
設置主体*		
国・公的医療機関	50	42.0
それ以外	69	58.0
病床数、床		
99以下	12	10.1
100-199	56	47.1
200-299	13	10.9
300-399	22	18.5
400-499	8	6.7
500以上	8	6.7
COVID-19患者受入、あり		
離職の増加、あり	43	36.1
休職・休暇・休業制度利用の増加、あり	35	29.4

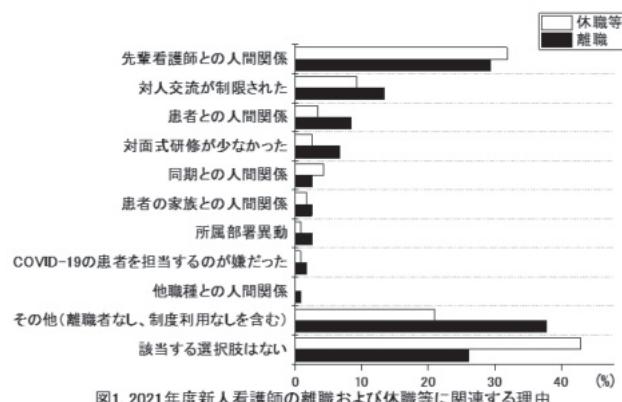


写真1

2 研究成果をもとに昨年10月7日「新人と先輩看護師集まれ！二人三脚交流会」開催

交流会の目的は、「新人看護師と先輩看護師が協働作業を通し、自尊感情やコミュニケーション能力を高める」「新人看護師と先輩看護師が相互理解を深める」でした。この会には、人材育成に関する功績が多くある愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センターの内藤知佐子先生をお招きました。先生の魅力的な講義だけでなく(写真2)、お互いの力を合わせないとクリアできないクイズラリー、ポジティブな雑談をするシャッフルブレイクタイム、自尊感情を高めるワーク、同じ立場・異なる立場の人と語り合う等を行いました。参加者は28組でした。参加者のアンケート結果では、お互いの理解、関心、身近な存在に感じるという項目全てにおいて、交流会後に肯定的な回答の割合が増えていました(図2)。また自尊感情は10-40点の範囲で数値が高いほど自尊感情が高いと評価するRosenberg self-esteem scaleで評価しました²⁾。その結果、中央値と四分位範囲は交流会前24点(21-26)から交流会後27点(23-29)となりました。写真3はクイズラリーで1位の参加者です。この写真から交流会の楽しさが伝わると思います。



写真2

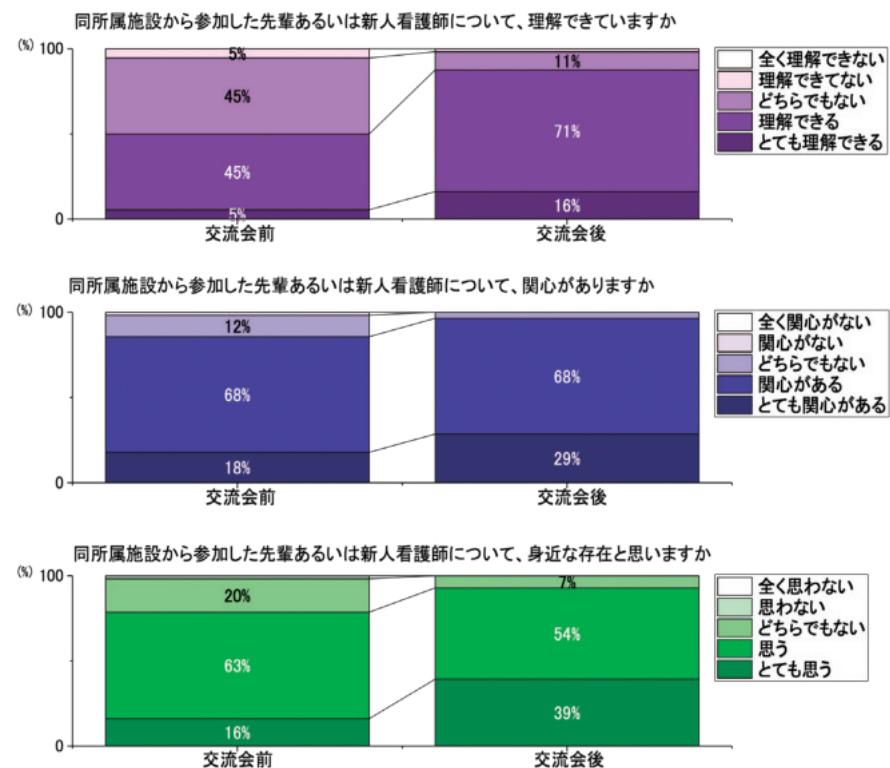


図2. 交流会前後のアンケート結果



写真3



3 まとめ

新人看護師の離職問題を解決する鍵は、看護師間コミュニケーションと考えます。この鍵を手に入れには、お金は不要ですが、管理者等のひと工夫が必要なのかもしれません。看護師機能I委員は、その工夫について交流会・研修会企画等でお手伝いを致します。

参考文献

- 1)日本看護協会. 2022年 病院看護・助産実態調査 報告書.
https://www.nurse.or.jp/nursing/statistics_publication/publication/research/index.html. (2023.9.29閲覧)
- 2) Mimura C, Griffiths P. A Japanese version of the Rosenberg Self-Esteem Scale: translation and equivalence assessment. J Psychosom Res. 2007;62(5):589-594.

地域で暮らしを支える看護職

“ときどき入院、ほぼ在宅” 病気や障害があっても、最期を迎える時まで住み慣れた家で暮らし続けたいと望まれる方が増えています。住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けられるよう、人々に寄り添って在宅療養を支えている兵庫区の3人の看護師の皆さまからお話を伺いました。



- みなとがわあんしんすこやかセンター 朝倉 真理子さん
- 医療法人川崎病院患者支援センター入退院支援室 中村 由香さん
- 訪問看護ステーションあさんて・はな 境 発子さん

[聞き手]
専務理事：西口 久代

—— どのようなお仕事をされているのか自己紹介をお願いします。

朝倉：みなとがわあんしんすこやかセンターで保健師として活動している朝倉です。65歳以上の高齢者の総合相談窓口として神戸市から委託を受けている地域包括支援センターです。兵庫区の北部を担当しています。ここでは20年目になり、街中でもよく声をかけてもらえるようになりましたが、まだまだ学ぶところが多いです。



朝倉 真理子さん

中村：川崎病院の患者支援センターで訪問診療をしている看護師の中村です。兵庫区にある地域密着型の病院で、独居の患者さんが多いです。退院支援する際は「独居」が鍵で、「家で過ごしたい」という思いを叶えるためには、訪問診療や訪問看護、ケアマネジャー(以下、ケアマネ)等、在宅の力を借りる必要があります。最期まで自宅で過ごしたいという方達の思いに寄り添えるよう訪問看護師やケアマネと伴走しながらやっています。独居で自宅での看取りとなると本当に難しく、不安や葛藤を感じます。訪問診療看護師と訪問看護師の違いは、何もないところ(病院)から、ケアマネや訪問看護師、ヘルパー、ご家族等へと繋ぐという点だと思います。

境：兵庫区にある訪問看護ステーションあさんてはなの境と申します。訪問看護師5年目です。うちのステーションの特徴はターミナルの方が多いことで、昨年度は51件看取りました。これは在宅看取りの数で、途中で入院される方もおられるので、実際はもっと多くの方と関わっています。

—— 印象に残っているケースはありますか。

朝倉：介護保険では要支援の方を担当しますが、ターミナルの高齢者の方を訪問看護に繋ぎながら関わったことがあります。父子2人暮らしで、父親はがん末期で息子さんは精神疾患。「家にいたい」という父親。また「家にいさせてあげたい」という息子さん。でも日々父親の様子が変わっていく状況を息子さんが受け止められず、どうやってサポートするかを介護・医療関係者と一緒に考えました。息子さん自身も夜眠れなかったり、度々電話を掛けてきましたが、最期までしっかり在宅で看取られました。職種が違っても「残された人生一日一日を在宅で過ごしてもらい、良い最期を迎えられるようにサポートをしたい」という気持ちがあるんですよね。考え方方が違うこともあるけどゴールはみんな一緒に、それをうまくつなぎ合わせることができたらいい支援につながるということを改めて実感しました。支援者全員で同じ方向を向いて一緒に支えることが出来た、心に残るケースでした。

中村：30代で知的障害のある息子さんと70代の母親のケースが印象的でした。息子さんが母親の生活保護費を月初に使ってしまい食べるものがなく、みたいな生活をされていました。母親に末期のがんが見つかり、2週間くらい入院されました。「最期は一緒にいたい」と息子さんが強くおっしゃって…。

暑い時期にエアコンのない家に帰ることになるので母親に確認したら、「あの子のことも心配だし家に帰る」と自宅に帰られました。生活保護費の支給日に訪問診療で家に行くと、母親がベッドの下で倒れていて、息が止っていました。息子さんが不在だったので置手紙をして帰ると電話がありました。支給日だったから母親に見せるためのポータブルテレビと、食料をいっぱい買ってきました…。息子さんには「お母さんに何かしてあげたい」っていう思いがあって、親子にとってはそれが日常なんだろうなと思いました。家に帰ることが良かったのか悪かったのか分からぬけど、母親の死をちゃんと感じ取れたのは良かったと思っています。

境：一人ひとりの方が生き様を見せて下さり、全ての方が印象深いのですが、「連携」という点では、一人暮らしの若い女性で、在宅酸素16l使用の方ですね。生きたいというエネルギーが強く、やりたいことがすごく明確な方でした。「毎日

シャワーしたい」と言うので、シャワーをするために考えつくことを全部しました。すごく汗をかくので、動けなくなつてからでも、汗を流すことがその人にとって気持ちよくて免疫力が上がると考え、ヘルパーさんと一緒にベッドの上でペットボトルにお湯を入れて背中を流したりしました。



境 発子さん



中村 由香さん

——課題と感じておられることがありますか。

朝倉：「最期は家で」とご本人が望んでも、周りに理解されないこともあります、ジレンマを感じことがあります。でも一方でご本人の意向が中心になると、対応しきれず関係性の悪化や、共倒れすることもあり、どのような支援をしていくことが双方にとってベストなのか毎回悩むところで、私の中では大きな課題です。

中村：私は訪問看護を7～8年して病院に戻ったんですが、びっくりしたのは「病院では在宅は受け入れられてないんだな」ということです。入院中にADLが低下しても、希望があれば家から来た人は家に帰してほしいんですけど、カンファレンスで「もう家は無理」と決められる。それを決めるのは本人でなくて、病院側だったりすることも多いですね。

「施設の方がいい」、「坂がある」、「階段を上がらないといけない」、「障害がある」から無理となる。慣れた階段は上がるし、三階建でも慣れた三階なら帰れる、坂も登れるんです。それが日常なんです。無理と勝手に判断してしまうことがあります、それは病院という箱の中だけの価値観だってすごく残念に思うことがあります。在宅のメンバーや訪問看護師、ヘルパーの力をもっと信じてほしいと思います。

朝倉：「病気や障害を持ち続けながら家で生活をする」ということが病院の中でしか働いていない看護師にはイメージがつかないんだと思います。川崎病院のように在宅に足を運んでくれる病院がもっと増えれば、地域に寄り添うことができる病院看護師も増えるのではないかと思います。

中村：病院は安心できる場所ですけど、在宅の力、在宅のスタッフの力を知ってもらいたいし、信じてほしいと思います。

境：いつも思うのは家族の負担ですよね。サービスを入れたら負担が減るかもしれないですが、やっぱり家族が見ないといけないとか、何かあったらどうしようという負担感がありますね。

朝倉：地域の方からもよくお話を聞くのですが、私たちの地域は次に引き継ぐ方がなかなか見つからないです。これはずっと以前から言われ続けていたことですが、結局解消されないままに民生委員の不在地域が増えてきています。また近隣の人間関係も希薄になって、挨拶しても返ってこないという話も耳にすることが増えてきました。そんな中で地域包括ケアシステムを構築していくのは難しいなと感じています。地域の方だけでの安心・安全な地域づくりは限界にきてるよう思います。そこに携わる支援者にも協力してもらいながら、地域を底上げしていくためにはどうしたらいいのかを真剣に考えていかないといけないのではないかと思います。地域の方や支援者も一緒になって、地域ぐるみでサポートできるつながりが作れたらなと思います。

中村：私は外来で療養支援もしていて、継続的に声をかけたり、生活が厳しそうという情報を聞いたら介護保険の申請を勧めたりしています。

外来でそういう時間を作るのは難しいけど、患者さんに「いつも気にかけているよ」という思いが伝わるよう声を掛けています。

境：「半径5メートルの方を幸せにする」「笑顔にする」とおっしゃっていた方がいます。大きな視点では見れないけど、私にできることを一つずつして、返して頂いた分をまた次の方に返していく。それがその一歩だと思っています。

—— その人らしい生活を、その人の住んでいる場所で、日常を守りながらいかに生きていくのかを考え、支えていく。一人一人に向き合い、寄り添うことが看護として大切ななど改めて考えることができました。本日はありがとうございました。

支部会員会について

ご出席をお願いします!

2月に各支部において支部会員会が開催されます。

この会員会では、令和6年度の定時総会において選挙権及び議決権行使する「代議員」及び「予備代議員」を選出する大切な機会となりますので、できるだけ多数の会員の皆様のご出席をお願いします。

支部会員会を欠席される方は委任状が必要です!

支部会員会の決議には、過半数以上の会員の出席が必要になりますので、やむを得ず会員会を欠席される場合は、必ず事前に委任状を提出いただきますよう、お願いします。委任状にはご署名の上、申込期限迄に本会事務局までご送付下さい。

受任者は、所属される支部の地区理事(支部代表)、又は他の正会員としてください。

令和5年度 支部会員会開催予定表

※受付は開催時間の30分前から開始

支 部	開催日(令和6年)	時 間	会 場
阪神南	3月5日(火)	14:00～15:30	西宮市大学交流センター 会場のみの開催 西宮市北口町1番2号 ACTA西宮東館6階 TEL:0798(69)3155
阪神北	2月22日(木)	14:30～16:30	宝塚商工会議所多目的ホール 会場のみの開催 宝塚市栄町2丁目1番2号 ソリオ2(6階) TEL:0797(83)2211
神戸東部	2月20日(火)	14:00～15:30	兵庫県看護協会会館 オンラインのみの開催 ただし、受任者のみ会場へお越しください 神戸市中央区下山手通5-6-24 TEL:078(341)0190
神戸中部	2月15日(木)	14:00～15:00	兵庫県看護協会会館 会場のみの開催 神戸市中央区下山手通5-6-24 TEL:078(341)0190
神戸西部	2月16日(金)	14:00～15:00	兵庫県看護協会会館 オンラインと会場の併用開催 神戸市中央区下山手通5-6-24 TEL:078(341)0190
東 播	2月17日(土)	9:45～12:00	複合型交流拠点 ウィズあかし 801 会場のみの開催 明石市東仲ノ町6-1 TEL:078(918)5600
北 播	2月10日(土)	14:00～16:30	北播磨総合医療センター 大会議室 会場のみの開催 小野市市場町926-250 TEL:0794(88)8800
西 播	2月17日(土)	14:00～16:00	姫路商工会議所702ホール、402会議室 会場のみの開催 姫路市下寺町43 TEL:079(222)6001
但 馬	2月10日(土)	13:30～14:30	但馬長寿の郷 郷ホール 会場のみの開催 養父市八鹿町国木594-10 TEL:079(662)8456

令和6年度 兵庫県看護協会代議員・予備代議員候補者名簿(案)

※勤務先名称は、設置主体等を省略しています。

代議員(211名)

支部名	No.	氏 名	職種	勤務先
阪 神 南 (36 名)	1	雑賀 逸平	看	兵庫医科大学病院
	2	中村 滋子	看	兵庫医科大学病院
	3	吉良美智子	看	兵庫医科大学病院
	4	瀧 琴江	助	県立尼崎総合医療センター
	5	氏原 寧子	看	県立尼崎総合医療センター
	6	山本 道子	看	県立尼崎総合医療センター
	7	曾谷 暁恵	看	関西労災病院
	8	荒川 蘭子	看	関西労災病院
	9	今田 優子	看	関西労災病院
	10	林 清子	看	明和病院
	11	島田 麻美	看	明和病院
	12	吉田 尚史	看	県立西宮病院
	13	阪本 純子	看	市立芦屋病院

予備代議員(211名)

支部名	No.	氏 名	職種	勤務先
阪 神 南 (36 名)	1	木村 幸子	看	兵庫医科大学病院
	2	山岡 綾子	看	兵庫医科大学病院
	3	岡山カナ子	看	兵庫医科大学病院
	4	松田加代子	助	県立尼崎総合医療センター
	5	森 節子	看	県立尼崎総合医療センター
	6	宮永美音子	看	県立尼崎総合医療センター
	7	田中みゆき	助	関西労災病院
	8	田村ゆうき	看	関西労災病院
	9	久保田理恵	看	関西労災病院
	10	森 麻里子	看	明和病院
	11	太田 典子	看	明和病院
	12	前田あゆみ	看	県立西宮病院
	13	濱田佐和子	看	市立芦屋病院

支部名	No.	氏名	職種	勤務先	支部名	No.	氏名	職種	勤務先
阪神南	14	石本 芳枝	看	西宮協立脳神経外科病院	阪神南	14	水谷 早苗	看	西宮協立脳神経外科病院
	15	黒瀬 陽子	看	尼崎だいもつ病院		15	西中のぞみ	看	尼崎だいもつ病院
	16	高田美那子	看	笹生病院		16	大西 瞳	看	笹生病院
	17	小川 聰子	看	尼崎新都心病院		17	深田みどり	看	尼崎新都心病院
	18	森本 愛子	看	尼崎中央病院		18	平沙 由希	看	尼崎中央病院
	19	福間千恵美	看	西宮渡辺心臓脳・血管センター		19	堀 真純	看	西宮渡辺心臓脳・血管センター
	20	野本ア友美	看	谷向病院		20	喜田 文子	看	谷向病院
	21	素利 真澄	看	西宮渡辺病院		21	岡見さとみ	看	西宮渡辺病院
	22	花房めぐみ	看	合志病院		22	岡田みゆき	看	合志病院
	23	本田 千鶴	看	上ヶ原病院		23	笠間ひとみ	看	上ヶ原病院
	24	富永 容子	助	尼崎医療生協病院		24	北島 祥子	看	尼崎医療生協病院
	25	尾関 美絵	看	西宮すなご医療福祉センター		25	三反田優子	看	西宮すなご医療福祉センター
	26	南 好江	看	西宮協立リハビリテーション病院		26	足立 典子	看	西宮協立リハビリテーション病院
	27	川端 京子	看	武庫川女子大学看護学部		27	西山 直毅	看	武庫川女子大学看護学部
	28	吉岡 真里	看	協和マリナホスピタル		28	笠井かおり	看	介護老人保健施設ウエルハウス西宮
	29	勝田千香子	准	三好病院		29	高橋 紀子	准	三好病院
	30	大木 宏恵	看	北摂中央病院		30	富満 朱実	看	北摂中央病院
	31	山本佐知子	看	南芦屋浜病院		31	川端 美幸	看	南芦屋浜病院
	32	矢野 里枝	看	大隈病院		32	中嶋江利子	看	大隈病院
	33	山際 陽子	保	西宮市役所		33	岡崎 綾乃	保	西宮北口保健福祉センター
	34	米津壽実子	看	西宮敬愛会病院		34	川口 恵	看	西宮敬愛会病院
	35	中川知津子	看	つかぐち病院		35	万代由美子	看	つかぐち病院
	36	野口由紀子	看	西宮市立中央病院		36	小島さやか	看	西宮市立中央病院
阪神北 (23名)	37	左海 厚子	看	宝塚病院	阪神北 (23名)	37	宮脇 望	看	宝塚病院
	38	畠 美咲	看	あいの病院		38	河田 広子	看	介護老人保健施設ケアヴィラ宝塚
	39	杉浦 清美	看	三田市民病院		39	疋田 恵子	看	医療福祉センターさくら
	40	岸添有喜子	看	兵庫中央病院		40	川口智恵美	看	あいの病院
	41	福井美登里	看	三田高原病院		41	梅田 弓美	看	三田市民病院
	42	甲斐 愛梨	看	東宝塚さとう病院		42	吉川 裕美	看	東宝塚さとう病院
	43	吉井 純子	保	宝塚健康福祉事務所		43	太田 実里	看	平島病院
	44	西田 安芸	看	宝塚市立病院		44	渡辺 明美	看	宝塚市立病院
	45	濱田 彩加	看	伊丹せいふう病院		45	古田千鶴子	看	伊丹せいふう病院
	46	岡部めぐみ	看	ベリタス病院		46	渡邊 香織	看	ベリタス病院
	47	伊達美和子	看	市立伊丹病院		47	中村 公美	看	市立伊丹病院
	48	森 真貴子	看	川西リハビリテーション病院		48	高須 芳美	看	川西市立総合医療センター
	49	小田 愛弓	看	自衛隊阪神病院		49	渡邊久美子	看	自衛隊阪神病院
	50	本間 恵美	看	阪神リハビリテーション病院		50	水原 律子	看	近畿中央病院
	51	大石 里美	看	近畿中央病院		51	安田まゆみ	看	近畿中央病院
	52	堀江優雅子	看	協立記念病院		52	和泉 知穂	看	協立記念病院
	53	内村 康恵	看	生駒病院		53	廣松 美紀	看	生駒病院
	54	熊部 康子	看	第二協立病院		54	高島 陽子	看	第二協立病院
	55	三村亞里沙	看	川西市立総合医療センター		55	西村紀代子	助	川西市立総合医療センター
	56	大畑いずみ	看	岡本病院		56	高田ゆかり	看	県立丹波医療センター
	57	藤原恵美子	看	兵庫医科大学ささやま医療センター		57	大槻 弥生	看	県立丹波市看護専門学校
	58	中川有美子	助	県立丹波医療センター		58	蘆田 恒卓	保	県立丹波医療センター
	59	長澤 由美	准	岡本病院		59	細見里都子	准	岡本病院
神戸東部 (26名)	60	佐藤 恵美	看	神戸市立医療センター中央市民病院	神戸東部 (26名)	60	堤 典江	看	神戸市立医療センター中央市民病院
	61	山中 美香	助	神戸市立医療センター中央市民病院		61	小迫 瞳	看	神戸市立医療センター中央市民病院
	62	増本 智香	看	神戸市立医療センター中央市民病院		62	松尾 幸恵	看	神戸市立医療センター中央市民病院
	63	児島 雅美	看	神戸市立医療センター中央市民病院		63	竹内志津枝	看	神戸市立医療センター中央市民病院
	64	二川原知恵子	看	神鋼記念病院		64	朝長 絵美	看	神鋼記念病院
	65	牟田真理子	看	神鋼記念病院		65	仲宗根良枝	看	神鋼記念病院
	66	福井 雅美	看	神戸赤十字病院		66	岡田 亜紀	看	神戸赤十字病院
	67	稻垣 智也	看	神戸赤十字病院		67	片岡 千佳	看	神戸赤十字病院
	68	森田 康介	看	神戸労災病院		68	共田 久美	看	神戸労災病院
	69	黒川 昌美	看	神戸労災病院		69	曾利 美穂	看	神戸労災病院
	70	藤田直美子	看	甲南医療センター		70	富永 敦子	看	甲南医療センター
	71	岡村真由美	看	甲南医療センター		71	杉本 朋子	看	甲南医療センター
	72	内村ひとみ	看	東神戸病院		72	三原由季子	看	東神戸病院
	73	上林 朝子	看	神戸海星病院		73	津本 裕美	看	神戸海星病院
	74	辻井美津子	看	金沢病院		74	平井美智子	看	金沢病院
	75	岡別府朋美	准	金沢病院		75	上西美奈子	看	県立こども病院
	76	大田有佳里	看	宮地病院		76	山根 美佐	看	宮地病院
	77	二宮 幸子	看	ポートアイランド病院		77	本間 幸子	看	ポートアイランド病院
	78	森山 純子	看	六甲アイランド甲南病院		78	伊東 綾	看	六甲アイランド甲南病院
	79	岡田 美紀	看	兵庫県災害医療センター		79	丹羽 将志	看	兵庫県災害医療センター
	80	前森 恵	看	六甲病院		80	吉田 優	看	六甲病院

支部名	No.	氏名	職種	勤務先	支部名	No.	氏名	職種	勤務先
神戸東部	81	高田 郁子	看	西記念ポートアイランドリハビリテーション病院	神戸東部	81	濱崎よし美	看	西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
	82	森井 文恵	保	神戸市健康局		82	福永 尚美	保	神戸市健康局
	83	増田裕佳里	助	県立こども病院		83	小泉 仁美	助	県立こども病院
	84	井谷 洋美	看	県立こども病院		84	奥野 直子	看	県立こども病院
	85	新井 良子	看	県立こども病院		85	藤山 真弓	看	県立こども病院
神戸中部 (21名)	86	西田 郁子	看	神戸大学医学部附属病院	神戸中部 (21名)	86	高濱 和美	看	神戸大学医学部附属病院
	87	古川 敦子	看	神戸大学医学部附属病院		87	山口 真依	看	神戸大学医学部附属病院
	88	荒木 恵美	看	神戸大学医学部附属病院		88	根井 良政	看	神戸大学医学部附属病院
	89	新谷 綾香	助	神戸大学医学部附属病院		89	藤本 佳奈	助	神戸大学医学部附属病院
	90	田川真理子	看	三菱神戸病院		90	岸 真理	准	三菱神戸病院
	91	田中真夕美	看	神戸ほくと病院		91	山下こずえ	看	神戸ほくと病院
	92	高須 朱美	看	小原病院		92	永易 悅子	看	小原病院
	93	疋田 美雪	看	神戸中央病院		93	江口 由香	看	神戸中央病院
	94	山田磨利子	看	神戸中央病院		94	萩野 俊美	看	神戸中央病院
	95	佐々木延子	看	神戸マリナーズ厚生会病院		95	前田 桐子	看	神戸マリナーズ厚生会病院
	96	田村 美和	看	神戸リハビリテーション病院		96	磯田 明香	看	神戸リハビリテーション病院
	97	黒川 沙織	看	県立ひょうごこころの医療センター		97	井上 大輔	看	県立ひょうごこころの医療センター
	98	林田 京子	看	川崎病院		98	足立 亜紀	看	川崎病院
	99	安川真由美	看	顕修会すずらん病院		99	田中 美恵	看	顕修会すずらん病院
	100	西野 裕輔	看	三菱神戸病院		100	白石 恵美	看	三聖病院
	101	百原絵梨香	看	有馬温泉病院		101	武宮 彩子	看	有馬温泉病院
	102	山中さゆり	看	吉田病院		102	宮武 早苗	看	吉田病院
	103	大西 安代	看	神戸看護専門学校		103	新田 早苗	看	隈病院
	104	藤野久美子	看	神戸百年記念病院		104	細川 奈愛	看	神戸百年記念病院
	105	浦瀬めぐみ	看	済生会兵庫県病院		105	永谷 直子	看	済生会兵庫県病院
	106	濱 裕子	保	神戸市北区保健福祉部		106	米田 和代	保	兵庫県保健医療部医務課
神戸西部 (19名)	107	田中亞希子	看	西神戸医療センター	神戸西部 (19名)	107	井上 薫	看	西神戸医療センター
	108	足立 茜	助	神戸市立医療センター西市民病院		108	趙 春香	助	神戸市立医療センター西市民病院
	109	太田恵美子	看	神戸掖済会病院		109	西山 彩	看	神戸掖済会病院
	110	八田 友見	看	新須磨病院		110	中村 純子	看	新須磨病院
	111	長井有香子	看	神戸朝日病院		111	橋本 美香	看	神戸朝日病院
	112	堀口由香里	看	野瀬病院		112	尾富 直子	看	野瀬病院
	113	岸本 由美	看	明芳外科リハビリテーション病院		113	高垣真紗代	看	明芳外科リハビリテーション病院
	114	森岡 聰美	看	北須磨病院		114	田川 千里	看	北須磨病院
	115	住谷 良恵	看	舞子台病院		115	千葉佳代子	看	舞子台病院
	116	谷口久仁子	准	神戸徳洲会病院		116	大藤 一美	看	神戸徳洲会病院
	117	段 久美	看	順心神戸病院		117	横山由香里	看	順心神戸病院
	118	百瀬美賀子	看	久野病院		118	山城 千景	看	久野病院
	119	山本 佳代	看	神出病院		119	風原 景子	看	神出病院
	120	藤田 愛	看	北須磨訪問看護・リハビリセンター		120	平間 真澄	看	北須磨訪問看護・リハビリセンター
	121	八重貴美子	看	おひさま訪問看護ステーション		121	森田 悅子	看	おひさま訪問看護ステーション
	122	中島ひろみ	看	ドマーニ神戸		122	池内 雅子	看	県立リハビリテーション中央病院
	123	林 千冬	看	神戸市看護大学		123	花井 理紗	看	神戸市看護大学
	124	尾崎 雅子	看	神戸常盤大学		124	金川 治美	看	神戸常盤大学
	125	黒木えい子	保	神戸市須磨区北須磨支所		125	玉井 光恵	保	神戸市須磨区北須磨支所
東播 (31名)	126	葉田真美子	助	加古川中央市民病院	東播 (31名)	126	飯田 洋未	看	加古川中央市民病院
	127	國末 彰子	看	加古川中央市民病院		127	伊藤 美喜	看	加古川中央市民病院
	128	杉本 忍	看	加古川中央市民病院		128	下田美千代	看	加古川中央市民病院
	129	橋 あゆみ	看	加古川中央市民病院		129	宮本江利子	看	加古川中央市民病院
	130	櫻井 裕美	看	明石医療センター		130	西野 円	看	明石医療センター
	131	宮崎 真有	看	明石医療センター		131	室 紀子	看	明石医療センター
	132	眞鍋由美子	看	明石医療センター		132	中島 昌二	看	明石医療センター
	133	大原 晴子	看	県立がんセンター		133	藤木 育子	看	県立がんセンター
	134	服部 知子	看	県立がんセンター		134	村上 千佳	看	県立がんセンター
	135	高橋ひとみ	看	県立淡路医療センター		135	岩城かよ子	看	県立淡路医療センター
	136	平松 智子	助	県立淡路医療センター		136	三宅 江美	助	県立淡路医療センター
	137	定 千明	看	明石市立市民病院		137	岡崎 智絵	看	明石市立市民病院
	138	中田三奈子	看	明石市立市民病院		138	齋村由美子	看	明石市立市民病院
	139	大條さおり	看	県立加古川医療センター		139	野中 功	看	県立加古川医療センター
	140	長谷川智晴	看	県立加古川医療センター		140	七村 恵美	看	県立加古川医療センター
	141	秋田 麻子	准	西江井島病院		141	東 充子	准	共立会病院
	142	大村佳代子	看	兵庫県立大学看護学部		142	濱上アキ子	看	兵庫県立大学看護学部
	143	玉井 純子	保	あかし保健所		143	松井 恵理	保	明石市役所
	144	金澤 陽子	看	大久保病院		144	葛 あゆみ	看	大久保病院
	145	西村 由香	看	西江井島病院		145	松浦 克美	看	西江井島病院
	146	福羅 昭子	看	あさぎり病院		146	八木 晶子	看	あさぎり病院

支部名	No.	氏名	職種	勤務先	支部名	No.	氏名	職種	勤務先
東播 (14名)	147	大西 幸美	看	神明病院	東播 (14名)	147	加々尾亞也子	看	神明病院
	148	井上 恵	看	明石回生病院		148	植田 雅美	看	明石回生病院
	149	白間 浩基	看	明石仁十病院		149	竹内 優子	看	明石仁十病院
	150	渡邊 初美	看	順心病院		150	香月 香織	看	順心病院
	151	竹澤 一憲	看	高砂市民病院		151	榮浪 聖子	看	高砂市民病院
	152	中野美保代	看	松本病院		152	竹下久美子	看	松本病院
	153	辻田 利恵	看	フェニックス加古川記念病院		153	若林 梓	看	フェニックス加古川記念病院
	154	松尾 美穂	看	加古川磯病院		154	大崎 尚子	看	加古川磯病院
	155	辻本貴代子	看	中林病院		155	真野 幹子	看	中林病院
	156	柏木 美穂	看	訪問看護ステーションラビットケア		156	平山 恵子	看	訪問看護ステーション淡路
	157	篠田 玲子	保	加東市役所		157	後藤 和穂	保	加西市役所
	158	澁谷 純子	助	市立西脇病院		158	岩本 綾子	助	市立加西病院
	159	夏梅ゆかり	看	多可赤十字病院		159	井藤 ゆか	看	市立加西病院
	160	松本 淳子	看	松原メイフラワー病院		160	笹倉 典子	看	加東市民病院
	161	清水 千昭	看	みきやまリハビリテーション病院		161	茅谷 香織	看	みきやまリハビリテーション病院
	162	大塚美智恵	看	ときわ病院		162	藤井 陽子	看	ときわ病院
	163	植松 宏明	看	栄宏会小野病院		163	稻継 明子	看	栄宏会小野病院
	164	北条 純子	看	服部病院		164	櫻井 芳子	看	服部病院
	165	服部 洋子	看	老人保健施設しばざくら荘		165	松本 香織	看	市立西脇病院
	166	柴田 圭子	看	医療福祉センターのぎく		166	市位 優子	看	医療福祉センターきずな
	167	桑本 順	看	三木山陽病院		167	上原 明美	看	三木山陽病院
	168	福田 朗子	看	兵庫あおの病院		168	家氏美奈子	看	兵庫あおの病院
	169	長尾 順子	看	北播磨総合医療センター		169	小林 奈紀	看	北播磨総合医療センター
	170	藤本るみ子	准	吉川病院		170	森 輝美	看	北播磨総合医療センター
西播 (32名)	171	椿野 和美	看	公立神崎総合病院	西播 (32名)	171	藤井 有子	看	公立神崎総合病院
	172	小林エリ子	看	公立宍粟総合病院		172	立花真里子	看	公立宍粟総合病院
	173	村前 泰美	看	姫路聖マリア病院		173	内橋りつこ	看	姫路聖マリア病院
	174	池内 香織	助	姫路聖マリア病院		174	光岡 千代	助	姫路聖マリア病院
	175	稻田 博昭	看	姫路北病院		175	笹倉 尚子	看	姫路北病院
	176	森 美由紀	看	城陽江尻病院		176	梅田 美鈴	看	城陽江尻病院
	177	樺本 真波	看	姫路医療センター		177	山浦 仁美	看	姫路医療センター
	178	山本 礼子	看	姫路中央病院		178	坪田加奈子	看	姫路中央病院
	179	内海 実香	看	厚生病院		179	中谷 悅子	看	厚生病院
	180	中山 典子	看	ツカザキ病院		180	玉田あゆみ	看	三栄会広畠病院
	181	竹本 由紀	看	ツカザキ病院		181	有本智真子	看	ツカザキ病院
	182	沼田 温子	保	姫路市保健所		182	清水 豊子	保	姫路市中央保健センター北分室
	183	大谷 悠帆	看	姫路赤十字病院		183	奥村由三代	看	姫路赤十字病院
	184	吉田 英司	看	姫路赤十字病院		184	小林 寿代	看	姫路赤十字病院
	185	村尾 由花	助	姫路赤十字病院		185	小笠 綾子	助	姫路赤十字病院
	186	小野 真弓	助	姫路赤十字看護専門学校		186	川渕まゆみ	看	姫路市医師会看護専門学校
	187	酒見 久美	看	八家病院		187	永井 友美	看	八家病院
	188	中崎あけみ	看	國富胃腸病院		188	東 かおり	看	國富胃腸病院
	189	竹林 弥生	看	石川病院		189	奥田 享子	看	石川病院
	190	近藤 愛	看	神野病院		190	山室 良子	看	神野病院
	191	両角 照子	看	県立はりま姫路総合医療センター		191	高橋 弥穂	看	県立はりま姫路総合医療センター
	192	富士原光代	看	県立はりま姫路総合医療センター		192	西松 法穂	看	県立はりま姫路総合医療センター
	193	大竹あゆみ	准	入江病院		193	織衛 留美	准	入江病院
	194	茶木 太文	看	姫路第一病院		194	稻川智恵美	看	姫路第一病院
	195	前田 早苗	看	姫路愛和病院		195	橘 万規子	看	姫路愛和病院
	196	福永 敦子	看	井野病院		196	太田 晓美	看	井野病院
	197	中谷 悅子	看	中谷病院		197	松本 好美	看	中谷病院
	198	三浦 知子	看	赤穂市民病院		198	北村 真紀	看	赤穂市民病院
	199	溝川 祐子	看	IHI播磨病院		199	木下 大輔	看	IHI播磨病院
	200	中瀬 智子	看	たつの市民病院		200	井上かおり	看	たつの市民病院
	201	山本 洋史	看	県立リハビリテーション西播磨病院		201	深澤 明子	看	県立リハビリテーション西播磨病院
	202	坂部いくみ	看	赤穂中央病院		202	河合 七重	看	赤穂中央病院
但馬 (9名)	203	城山奈穂美	看	豊岡病院	但馬 (9名)	203	岡田 知子	助	豊岡病院
	204	吉谷 雅代	看	豊岡病院		204	古林 玉美	看	豊岡病院
	205	谷垣 智子	看	豊岡病院		205	吉井 愛	看	豊岡病院
	206	内田 留美	看	公立八鹿病院		206	橋本 志保	看	公立八鹿病院
	207	久保井ゆう子	助	公立八鹿病院		207	鷹野 理江	看	公立八鹿病院
	208	竹森 恵子	看	豊岡病院日高医療センター		208	佐野 陽子	看	朝来医療センター
	209	榎 春江	看	公立香住病院		209	濟木 孝子	看	公立浜坂病院
	210	戸田 久美	看	豊岡病院出石医療センター		210	後垣 康子	看	公立村岡病院
	211	珍坂 美紀	保	養父市役所		211	小谷千万里	保	養父市役所

ナースセンターだより

2023年度「地域に必要な看護職確保事業」西播（播磨姫路圏域）

■ プラチナナース活躍促進に向けた事業

① 管理者、雇用者のためのプラチナナース活用促進研修会 実施報告

開催日：10月13日（金） 開催場所：姫路商工会議所 ハイブリッド開催

講師：松岡 友美 氏（ひめじ人事労務コンサルティング 社会保険労務士）

プラチナナースが活躍できる環境づくりを提案する研修会に、看護管理者25名、事務職20名（うち事務局長10名）の合計45名が参加されました。研修後、研修内容の理解では「よくできた・だいたい理解できた」で100%を占め、研修会内容の活用では「活用できる・だいたい活用できる」で88.8%でした。講師の具体的な内容提示に、プラチナナース活用促進に向けた積極的意見が寄せられました。



② プラチナナースキャリア支援研修会 実施報告

開催日：11月11日（土） 開催場所：姫路キャスパホール 対面開催

講師：坂本 すが 氏（東京医療保健大学 副学長・教授 元日本看護協会会长）

プラチナナースの輝きは永遠の輝き！「ずっと大好きな看護を続けよう。積み重ねてきたキャリアを活かそう」をテーマにした研修会に、114名が参加されました。プラチナナースへのキャリア支援について、データを用いた論理的内容と、坂本先生と参加者の対話型研修となり会場内はより良い緊張感に包まれました。アンケート回収率は88%と高く、結果は、プラチナナースとしてワクワクする！モチベーション維持・アップについて理解できた85%、だいたいが13%で合わせると98%と高値でした。参加者皆が、「大いなる元気と勇気をもらった」「ワクワクすることを大切に働き続けたい」と大盛況のうちに、キャスパホールの緞帳（大輪の薔薇が描かれ、黎明と名付けられている）を降ろしました。

■ 中学生・高校生対象に看護の魅力ややりがいを伝え、看護の道を選んでもらうPR事業

① 姫路大学での看護イベント報告

ナースになりたい！キャンパス体験「播磨姫路を感じよう！体験しよう！未来につなぐ看護！」

開催日：10月21日（土） 場所：姫路大学

少子高齢化の中、西播地域の未来の看護師を確保するため、姫路大学でイベントを開催しました。姫路大学のキャンパスをお借りし、本物の看護大学生が学ぶ施設で高校生、中学生が看護技術の演習や講義を受ける体験をしました。参加した中高生からは、「看護についてもっと知りたいと思った」「看護の道に進みたいと思った」などの感想があり、若い世代に興味関心を持ってもらいました。



カフェコーナー
高校生、看護学生が
現役看護師から
普段は聞けない話を
聞きました▶

◀「かんごちゃん」の
血圧測定にドキドキ



高齢者▶
疑似体験をして
「のじぎくちゃん」と
記念撮影



令和5年度 看護管理者研修会 報告

テーマ：働き続けることができる職場づくりと人材確保

開催日：10月19日（木） 場所：兵庫県看護協会会館

講師：中村 季永 氏（特定社会労務士・キャリアコンサルタント・コーチ・カウンセラー）

看護職が働き続けることができる職場作りのため、どのような職場環境の整備・人材育成が必要かに焦点を当て、中村講師にご講演をいただきました。参加者は122名（会場21名・オンライン101名）の多くのご参加をいただきました。グループワークでは、ハラスマントを受けている模擬事例を使い活発な意見交換ができました。参加者からは、「今後の職場作りへのイメージができる」「まず相手の話を聞くことが大切だと実感した」等のご意見をいただきました。次年度も受講者のニーズを聞き、看護職の確保定着に向けた研修会開催に繋げていきます。

働き続けることができる
職場づくりと人材確保

ハラスマントを生まない
コミュニケーションのポイント

2023年10月19日 (木)

看護職合同就職説明会(神戸) 開催報告

開催日 9月9日(土) 場所 兵庫県看護協会会館
参加者 求人施設／54ブース(87施設)・求職者／75名(看護職・看護学生 等)



多くの参加者を迎えての対面開催は久しぶりでしたが、皆様にご協力いただき無事に終了しました。

自施設のPRだけでなく、熱心に求職者の思いを汲み取りながら質問に対応される求人施設の様子や、各ブースを訪問しながら熱意ある採用担当者の話を聞き、志望とは異なる看護の領域にも関心を高めた求職者の姿もありました。また、県外から「再来年の卒業後には兵庫県で就職したい!」とこの説明会に参加した看護学生も各施設の丁寧な説明と対応に、思いを強くした様子でした。さらに、半数近くの求人施設が「60歳以上採用可能」となっており、50代、60代の求職者も積極的に各ブースを訪問するなど、盛り上がりを見せた就職説明会となりました。

ナースセンター主催の復職支援研修の受講者や、ハローワークから紹介された求職者がこの説明会に参加し、病院見学へと続いている。

QRコード 参加費無料
申込必要

1月からは地域での看護職合同就職説明会が始まります!

西 播	阪神南	北 播	東 播
令和6年1月21日(日) オンライン開催	令和6年1月27日(土) 対面開催 会場 西宮市大学 交流センター	令和6年2月23日(金・祝) 対面とオンライン併用 会場 北播磨総合医療 センター	令和6年3月3日(日) オンライン開催

兵庫県ナースセンター連絡先一覧

詳細はホームページ <https://www.hna.or.jp/>
またはナースセンター(本所)へお問い合わせください。

本 所
078-341-0240

姫路支所
079-281-5006

宝塚支所
0797-63-5472

サテライト北播
0795-42-0242

サテライト但馬
079-663-0240

看護実践研究会

令和5年度看護実践研究会は、昨年同様にオンラインと対面で11月23日に開催されました。テーマは「なぜだろう!どうしてなんだろう!看護の疑問を探求しよう!」で、会場53名、オンライン参加33名の計86名の方にご参加をいただきました。

今年は、研究部門1題、実践部門11題と実践部門が多く発表されました。発表された演題は、COVID-19関連の発表ではなく、コロナ禍以前のような実践の中での取り組みが中心となりました。内容は、日々の困りごとをシミュレーションによって検証したり、助産師による性教育授業の活動であつたりと多岐に渡っていました。看護学生時代の実習の体験をまとめた発表は、患者に寄り添う看護の原点を思い出させてくれました。

今年は新たに参加者と発表者の交流集会が企画され、発表者の研究動機やどのように研究を行い発表までに至ったかの体験談を中心に議論されました。発表者からは、まとめるのは大変だったが、査読が丁寧にされて研究のまとめ方がよく分かりやってよかったという感想がありました。

教育講演は、「エビデンスを活用して看護の疑問を解決しよう!」をテーマに兵庫県立姫路はりま総合医療センターの竹原歩氏にご講演いただきました。エビデンスを探るための文献活用のポイントを非常にわかりやすく講義していただき、また、なぜ看護研究を行うのかについておっしゃった「やりたい看護を実践する為」という言葉は、看護が目的意識的な行為であるということを再確認させられるものでした。

少しづつ臨床が以前の状態に戻る中で、非常にできなかつた看護実践に積極的に取り組むことができるようになってきました。これからも行った実践を研究として発表して臨床家の共有財産にしていきましょう。



セカンドレベル研修 —2年ぶりに臨地実習を実施—

実習のねらいは「中間管理職として、自施設と連携する異なる役割機能を持つ他施設の実際を理解し連携力を高めることができる」です。53名の受講者全員が49の事業所等で実習を行いました。

—セカンドレベル研修での看護管理者としての成長— 神戸赤十字病院 看護師長 稲垣智也

今年度のセカンドレベル研修は対面型の形式で開催されました。2年ぶりに地域での臨地実習も組み込まれ、訪問看護ステーションで実習を行うことができました。

臨地実習は地域連携の理解を深めるために、研修生が主体となり事前準備から実習後のまとめまで実施します。まずは、実習目的や希望施設の選択理由を整理し、実習希望施設との交渉をし、日程調整などを行います。当日は、看護管理に焦点を当てた実習に臨み、実習後に実習報告書をまとめ、グループで討議した内容を発表します。

事前準備から主体的に地域の看護管理者と交流することで、「看護師長として、地域が求める病棟の役割を果たす必要がある」という新たな認識が私のなかに生まれました。そして、自部署を地域における急性期病棟という視点で改めて現状分析し、看護管理実践に取り組むという行動変容につながりました。また、臨地実習では利用者さんの自然な笑顔がとても印象に残っています。病院では見られないその姿から、自宅で過ごすことの重要性を再認識しました。

これらの経験からチーム医療の促進と多職種連携による退院支援の必要性を痛感し、地域に密着した看護管理実践が欠かせないと考えました。そのため、現在は部署内で多職種カンファレンスの再構築に尽力しています。

このような学びは、対面で専任教員や研修生と交流できたことで、より深いものとなったと思います。クラスメイトがお互いにサポートし、施設の情報共有や課題の進捗を話し合うことで、研修が終わってもお互いを励まし合える仲間となれました。看護の領域はそれぞれ異なりますが、今後もお互いを励みにし、共に看護管理者として成長していきたいです。



兵庫県実習指導者講習会

実習指導者講習会 —<特定分野>を受講して—

協立訪問看護ステーション 石井 彩

私は、今まで業務に追われ余裕をもって学生と関われず、悩みながら学生指導をしていましたため、効果的な指導を行いたいと思い、今回講習会への参加を決意しました。

講習会では教育や心理学などの基礎を学んだ上で、実習指導をする各学校の理念や実習要項・看護学生の特徴や個別性を理解し、目的・目標を達成できるよう指導していく事の重要性を理解出来ました。また、講義や演習を通して、看護教育における実習の意義及び実習指導者としての役割を理解し、効果的な実習指導が出来るよう必要な知識・技術を習得する事が出来ました。

学生と実習指導者はケアリング的関係、対象との関わり合いの中で相互的に成長します。学生は臨地実習で直接的経験をし、その経験をリフレクションし、解釈して意味づけしていく事で生きた看護を学び、学習を深めます。今回学んだ指導技術の中でも発問は難しく、今後も学生との関わりを通してスキルを磨いていきたいです。

先生方から頂いた実習指導案、三觀(教材観、学生観、指導観)を元に、日案や実際の一援助場面を作り上げる過程ではメンバーと日々試行錯誤を繰り返し、納得のいくものが作り上げられたと思います。発表では各グループ、領域での特色や様々な指導方法を共有し、学びを深める事が出来ました。

今回集まったメンバーは兵庫県の各地の現場で活躍している同志であり、情報交換をし、看護について熱く語る良い機会となりました。全員で無事終える事ができ、嬉しく思います。この出逢いを大切に、これからも共に頑張っていこうと思います。

最後になりましたが、今回ご講義頂いた諸先生方、講習会で私達受講生をいつでも愛を持って温かく見守り支えて下さった兵庫県看護協会の皆様、多忙な勤務の中この講習会へ快く送り出してくれた職場の皆様に深く感謝致します。



事業部

令和5年度兵庫県・丹波地域合同防災訓練 9月3日(日)

兵庫県・丹波地域合同防災訓練に災害支援ナース9名が参加しました。大雨による河川の氾濫や土砂崩れなど大規模災害を想定し、避難所、応急救護所、大規模救護所にJMAT兵庫として訓練活動を行いました。JMAT兵庫は、訓練前に役割や訓練の流れの確認のブリーフィング(報告と説明)を行っていたため、各専門職の役割機能を発揮し、スムーズな活動につながりました。救護所に次々と丹波市民、丹波市看護専門学生の方々が被災者役として運び込まれ、トリアージ、聞き取り調査、傷病者対応、ホワイトボードを用いたクロノロジー(活動内容を時系列に記録・整理した情報)などを行い対応しました。被災者が帰宅可能か医療機関の受診が必要なのかなどの判断を行い、医師や本部への報告と連携を行い、多重課題がある中で安全を配慮し、チーム内で声かけをしっかりと行いながらCSCATT*を元に対応を行う迫真性のある訓練となりました。

今年度から新たな災害支援ナースの養成が始まりました。より多くの施設から新たな災害支援ナースの登録をいただけるようお願いします。

*Command and Control(指揮と連携) Safety(安全確保) Communication(情報収集伝達)
Assessment(評価) Triage(トリアージ) Transport(搬送) Treatment(治療)



訪問看護総合支援センター

訪問看護のやりがい・・・



ホームページ



公式LINE

現在、兵庫県の訪問看護事業所数は850件を超え、訪問看護師は約4,300人となりました。
新生児から高齢者まで幅広く対応する事業所、小児や精神科に特化した事業所、リハビリテーションに強い事業所など、さまざまです。

訪問看護も、バイタルサイン測定や病状観察、医療処置、疼痛コントロール、医療機器の管理、精神面のケア、家族のケア、多職種との調整など、医療機関と同様の看護が必要です。
少し違うのは

24時間療養者の近くにいることができない

▼
次の訪問まで自立して過ごしてもらう必要がある

少し先までの予測(アセスメント)

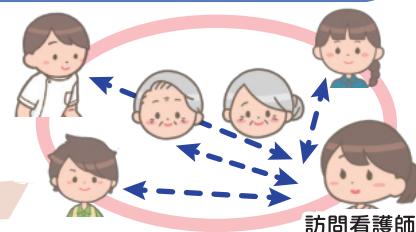
他職種と協働すること
その人に合ったセルフケア支援

◆ 病状をアセスメントし、セルフケアに着目した看護を提供すること

◆ アセスメントの結果より、多職種から提供される
療養者のケア全体の情報を収集し、調整すること

これらが訪問看護師の役割であり、やりがいであると思います。

兵庫県訪問看護総合支援センター mail : vncsc21@hna.or.jp





第6回

Voice of Hyogo Nurses

新人看護師リフレッシュ研修

神戸労災病院 坂本 晴瑠佳



入職して半年が過ぎました。毎日学びや反省があり、振り返ってみるとあっという間の半年で濃い半年だったと感じます。業務では自立して行えることが増え、やっと仕事にも慣れ夜勤も出来るようになりました。その分不規則な生活になり、心身ともに疲労もでてきました。

新人は研修が毎月あり、10月には「リフレッシュ研修」がありました。3~4人のグループに分かれ、王子動物園に出かけました。リフレッシュが一番の目的ですが、動物の生態についてグループで調べて発表するというミッションもありました。動物園はこの歳になって久しぶりで小学生以来でした。園内では遠足で来ている保育園児に混ざりながら同期達と動物を見て楽しました。全てのエリアを巡り、可愛い動物を見ては写真や動画を撮ったり、本当に癒される時間でした。仕事では、時間に追われる日々を過ごしていますが、時間を気にせずゆったりと過ごすことができました。お昼には町中華を食べにいき、美味しいご飯でお腹も満たされて幸せな気持ちでした。病院に戻り、それぞれの発表を聞き、どのグループも楽しい時間を過ごせたようで良かったです。

このような研修を企画してもらい、普段SNSで癒されている動物ですが、実際に動物園に行く機会をもらい、仲間とゆっくり1日を過ごし、リフレッシュできました。また、同期との交流を深めることができ、次の日からの業務も頑張ろうと思えた一日でした。

旅の時間

姫路赤十字病院 筑木 奈津子

日本には四季があり、季節ごとの年中行事、イベント、風習が沢山あります。不規則な勤務の合間、旅の時間を楽しみました。美味しい物を食べ、ゆっくり散歩。私のお薦めは、インド旅で体験した人種を感じることなく楽しんだお祭りホーリー祭があります。インドの三大祭りホーリー祭はカラフルな色粉を掛け合いカラフルに染まる楽しいお祭りです。朝晩涼しくなった季節が終わり、寒い冬が来て次は....



HAPPY HOLI !! 旅を楽しめることができる、日々に感謝し毎日を丁寧に過ごしたいと思います。

ライブラリーニュース
Library News

新着図書

会員向けに「医中誌Webミニレクチャー」を実施しています。ご質問はいつでもお気軽にどうぞ!

分類記号	タイトル
N084	根拠に基づいた実践
N680	認知症ケアに活かすコミュニケーションの脳科学20講
著者名	出版社
西垣昌和	南江堂
虫明元	共同医書出版
発行年	
2023	

『医療者のことばの持つ力』 田中順也 幻冬舎MC 2023

言葉の持つ力を改めて考えさせられるエッセイ。
著者は慢性腎臓病患者であり看護師。

編集後記

明けましておめでとうございます。今号の座談会は、地域の暮らしを支えておられる看護職の皆様にお話をいただいています。多種多様な課題をお持ちの方々へも寄り添いながら、その方々にとってのより良い生活は何かを模索され、ご支援されています。ご覧いただけますと幸いです。(細見) ●広報委員会: 石田貴美子、井手口翔子、田中雄大、細見友希、前原翔太郎、三崎修子、西口久代

広告

iMEP
NIPRO Institute for MEdical Practice

研修情報はこちら▶

NIPRO 医療研修施設 iMEP

研修を通して、
医療に貢献。

